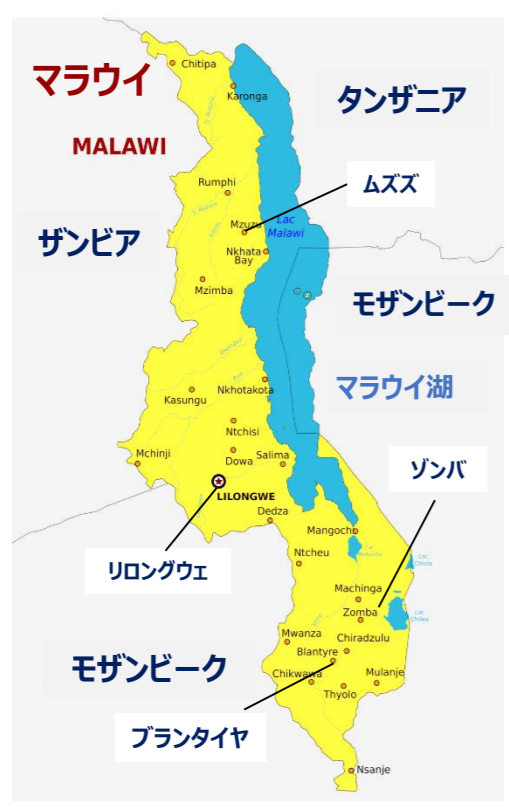


マラウイの
芸術小品
ギャラリー
提供：原祥子さん



マラウイ共和国 Republic of Malawi
面積：118,484 平方km (日本の約1/3)
人口：1,760 万人 (2016 年、国家統計局)
首都：リロングウェ
独立：1964 年7 月6 日、
公用語：英語、チェワ語
政体：共和制、大統領：ピーター・ムタリカ

日本マラウイ協会 Malawi Society of Japan
日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体。1983年2月26日設立。

大阪府高齢者大学校でマラウイ・ゼミ開催

2017年10月2日、大阪府高齢者大学校でマラウイを対象としたゼミが行われ、当会の殿村孝理事（写真左）が、ご自身の豊富な経験に基づいて講師としてレクチャーしました。ゼミメンバーの方々は、学んだ情報を基にして、大学祭で「マラウイ」についての紹介発表を実施しました。



2018年の活動（予定含む）

日付	曜日	内容
1/27	土	新春の集い2018（報告会・懇親会） JICA地球ひろば他
3月		機関紙KWACHA No. 59号発行
4/21, 22	土日	協力隊まつり
5/12	土	日本マラウイ協会総会
7/14	土	マラウイを語る集い2018
9月		機関紙KWACHA No. 60号発行
10月		グローバルフェスタ2018（出展予定）

日本マラウイ協会情報アクセス

- **ホームページ** <http://www.japan-malawi.org>
- **メール** info@japan-malawi.org
- **Facebookページ** <https://www.facebook.com/japan.malawi/>
- **YouTubeチャンネル** [Malawi Society of Japan 日本マラウイ協会](#)

入会ならびに会費納入のお願い

当会は、会員が納入する会費により運営を行っております。会の目的、活動内容に賛同される方々のご入会、会費納入をお願い申し上げます。

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物の送付なし
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

ホームページからお申込みいただく方法が最も簡単ですが、集いなどの受付でもお申込みいただくことも可能です。

方法	口座など
クレジット	VISAカードのみ（ホームページからのリンク）
銀行振込	三菱東京UFJ銀行 東恵比寿支店（普） 255739「日本マラウイ協会事務局 貝塚光宗」
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九 店（ゼロイチキョウ店） （当）0013125「日本マラウイ協会」 ゆうちょ銀行送金：口座番号00190-7-13125



日本マラウイ協会

日本マラウイ協会 機関紙（年2回発行）

KWACHA

<http://www.japan-malawi.org> info@japan-malawi.org

第59号

2018年
3月20日発行

21世紀はアジアとアフリカの世紀！

私は常々皆様に「21世紀は、アフリカの世紀である」と申し上げています。実際には「21世紀はアジアとアフリカの世紀」であって、前半は、誰もが気づいている通り、中国とインドが躍進する時代です。世界2位の中国のGDPは3位の日本の2倍（日本5兆ドル、中国11兆ドル、米国18兆ドル、2016年名目）であり、2030年には中国が1位、米国2位、インド3位、日本4位となります。その後21世紀の後半2050年には、アフリカの人口は25億、2100年には44億となり、世界人口の44%がアフリカ人となります。自分はアジアで最初にノーベル賞を受賞したタゴールの研究者ですが、タゴールは「人間の歴史は、侮辱された人間が勝利する日を辛抱強く待っている」と述べております。



会長 野呂元良

歴史上、最も深く長く侮辱され、あるいは植民地などで搾取されてきたのは中国、インド、アフリカ諸国です。約4～5百年の奴隷貿易で苦しんだアフリカは、人間として最大かつ最深の侮辱を受け、苦しんできたと言えます。『なにくそ、今に見ている』的DNAが最も強いと考えられます。また能力的にも中国人・インド人に決して劣ることはないでしょう。ですから、どう考えても21世紀後半はアフリカの世紀であると言えます。今世紀末には、アフリカは世界で最も豊かな地域の一つになっていくと考えられます。また、そのように進めていくのが同じ人間・人類としての責任ではないでしょうか。森総理が初のアフリカ訪問で言われた「アフリカの問題が解決しなければ、世界の平和と安定はない」というのが日本のアフリカ外交の基本哲学でもあり、アフリカの中でマラウイも先駆を切っけて頑張っていたきたい。また、私たち日本マラウイ協会もそのためにあるとも言えます。（会長 野呂元良）

新春の集い2018を都内で開催しました(1/27)

1月27日（土）に日本マラウイ協会「新春の集い2018」（報告会と懇親会）をJICA地球ひろば等で開催しました！

- **ウォームハートプロジェクト報告**
マラウイ国内で青年海外協力隊として活動する傍ら実施したウォームハートプロジェクトについて、帰国したばかりの原祥子さん（コミュニティ開発、コタコタ、右端）と阿部和香奈さん（障害児・者支援、ブランタイヤ、右から二人目）から報告いただきました。お二人が帰国間際まで困難な状況に立ち向かって繰り広げた現地での活動は、参加者の全員に感動を与えました。また、この二つの報告により、日本マラウイ協会が継続的に支援を行ってきたウォームハートプロジェクトの意義を再確認することができました。
- **横浜市水道局JICAボランティア活動報告**
続いて、横浜市水道局の石井務さん（事業推進部国際事業課担当係長、左端）と西田誠二さん（洋光台水道事務所担当

係長、左端）と西田誠二さん（洋光台水道事務所給水係長、左から二人目）のお二人が、JICAボランティア制度のもとで横浜市水道局が実施してきた活動について、また、ブランタイヤ市での水道事業の内容を具体的に報告されました。専門的な内容も含みましたが、さまざまな工夫して成果を得るための努力に、誰もが興味深く聞き入っていました。

- **懇親会**
報告会終了後、移動して、懇親会（下の写真）を行いました。報告会の発表者、新春の集い参加者、主催者と、自由闊達な意見交換などを行うことができました。また、「マラウイ作品2017」の優秀作品の速報と「マラウイを語る集い2018」（7月14日予定）の準備状況報告、企画検討なども意見が交わされました。

（報告レポートはホームページを参照ください）



石井 務さん 西田 誠二さん 阿部和香奈さん 原 祥子 さん



開催趣旨

当会の創立35周年を迎えるにあたって、SDGs（持続可能な開発目標）やTICAD VIナイロビ宣言といった新たな時代の要請や方向性を考慮して、さらに広範な日本とマラウイ共和国との関係強化と実効性の高い成果を指向して、記念講演、パネル討論、公募・招待による発表、企業展示、インターネットを使ったマラウイや日本国内との中継、アトラクションを含む懇親会など、密度の濃い、情報交流と人的交流の機会を企画し、準備を進めています。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。


開催概要

No.	項目	内容
1	名称	マラウイを語る集い2018 Japan - Malawi Forum 2018
2	主催	日本マラウイ協会
3	後援	外務省、独立行政法人国際協力機構、JICA地球ひろば、公益社団法人青年海外協力協会、駐日マラウイ共和国大使館、在マラウイ日本国大使館、一般社団法人アフリカ協会、一般社団法人アフリカ開発協会、特定非営利活動法人アフリカ日本協議会（予定含む）
4	会期	2018年7月14日（土） 10:00～18:00 （受付開始：9:30）
5	会場	JICA地球ひろば 国際会議場他 〒162-8433東京都新宿区市谷本村町10-5
6	申込	事前登録制（ホームページから申込みください） 当日残席があれば参加いただけます。

参加料金（支払方法：カード、銀行振込、当日現金）

区分	会議	懇親会	会議と懇親会
一般	2,000円	3,000円	5,000円
会員・学生	1,000円	2,000円	3,000円
アフリカ出身者	0円	1,000円	1,000円


お申込み <http://www.japan-malawi.org>
お問合せ info@japan-malawi.org

 **最優秀賞**
齊藤 陽子（動画）




 **最優秀賞**
IYCO & KAKA FURAHA（広吉 冬樹）（動画）




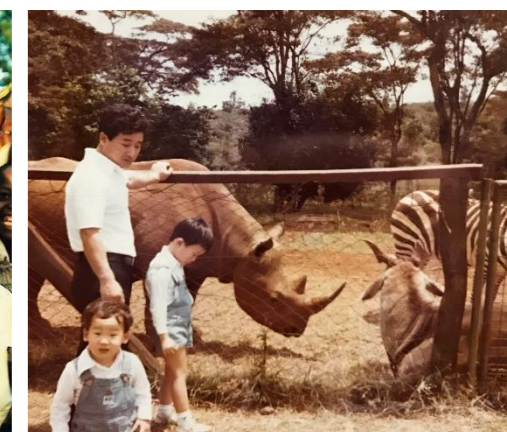
 **優秀賞**
坂本 若紺（画像）



 **優秀賞**
杉下 智彦（画像）



 **入選**
稲田 壮（画像）



JAPAN - MALAWI FORUM 2018

マラウイを語る集い 2018

2018年7月14日（土） 10:00～18:00 JICA地球ひろば（国際会議場他）

共に進もう！ 21世紀はアジアとアフリカの世紀

これまで「シマを食べる会」「マラウイ独立記念講演会」として実施してまいりましたが、創立35周年を迎える本年 **本格的なフォーラムとして開催します！**

事前
登録制

基調講演

持続可能な開発目標（SDGs）におけるマラウイの課題と魅力



杉下 智彦氏 東京女子医大教授

持続可能な開発目標（SDGs）
国際委員、ソーシャルビジネスグランプリ
大賞、第44回医療功労賞（2016）
元青年海外協力隊マラウイ派遣外科医

パネル討論会

マラウイ、サブサハラからできること、日本からできること



近藤 哲生氏 国連開発計画（UNDP）駐日代表

アフリカに縁のある識者
（企業・学識者・文化人ら）に打診中

マラウイ作品2017表彰式

「あなたの想いと経験を形にしてください！」と呼びかけ公募した作品から選抜された優秀作品（下記項目を参照ください）の表彰式を行います。併せて、作品・作者をご紹介します。

マラウイ・国内拠点の中継

会場、マラウイ、国内拠点などをインターネットを使って結んでライブ中継を行うことを企画しています。リアルタイムに映像・言葉・気持ちを伝えられることは、非常に効果的なコミュニケーション手段です。

懇親会 & アトラクション



基調講演者・討論会パネリスト・表彰者・発表者、そして参加者の皆が一同に会し、意義ある懇親の場を提供します。ビュッフェ形式の飲食を用意し、駐日マラウイ大使館との連携のもと、マラウイからの参加者、マラウイの音楽・パフォーマンスなどの企画も行っています。



口頭発表・展示を公募しています！

今回、「マラウイを語る集い2018」で、口頭発表と展示の公募枠を設定いたしました。青年海外協力隊やJICA、NGOなどで援助や協力活動をされている方、学術・研究分野で携わられている方、文化的な交流事業をされている方、あるいは、企業活動を通して現地と関わっている方など、当会の趣旨ならびに催事のテーマに沿った発表の申込をいただき、未来志向の集いの場を作りたいと考えております。ご応募をお待ちしております。応募の詳細は、ホームページを参照ください。

日本マラウイ協会が実施してきた「ウォームハートプロジェクト」シンポジウム

マラウイの協力隊員を活動を支援すべく、隊員からの要請に基づいて1案件あたり30万円程の資金援助を行うプロジェクトを立ち上げ、これまで13回実施してきました。①現地の状況を改善したいという思いを持つ隊員と、②資金提供する日本マラウイ協会、そして③受け入れる現地との3者の力が一体となり、さまざまな成果を上げてきました。このたびの「マラウイを語る集い2018」において、直近のプロジェクトの内容をマラウイ現地とつないで報告する企画を行っています。

*全作品はホームページの「作品」メニューを参照ください。
*マラウイを語る集い2018で表彰式を予定しています。

あなたの想い、経験を形に！ マラウイ作品2017 受賞作品